



**2025年3月期
決算短信補足資料**

2025年5月15日

寺崎電気産業株式会社
(証券コード：6637)

連結決算概要

- ✓ 売上面では、船舶用システム製品・エンジニアリング及びライフサイクルサービスが好調に推移
- ✓ 利益面では、原材料価格の高騰や人件費上昇等による影響を受けるも、増収や為替の円安影響等により増加

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	増減率	為替影響額
売上高	52,065	56,404	+4,339	+8.3%	+1,904
営業利益	4,921	5,618	+696	+14.2%	+530
経常利益	5,773	6,052	+279	+4.8%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,014	4,451	+436	+10.9%	
E P S 1株当たり当期純利益	308円15銭	341円67銭			
1株当たり配当金	36.00円	40.00円			
営業利益率	9.5%	10.0%			
R O E 自己資本利益率	9.2%	9.1%			

<2025年3月期
1株当たり配当金の内訳>
中間配当 10円
期末配当 30円・・・2/13予想に対し9円の増配
合計 40円

≪期中平均レート≫

1US\$	144.59円	152.61円
1EURO	156.75円	163.87円
1ST£	181.71円	194.72円
1RMB	20.13円	21.11円

セグメント別概要 日本

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	24,553 (55.5%)	26,084 (50.1%)	26,928 (47.8%)	+3.2%
セグメント利益	2,332	3,929	3,791	▲3.5%

《売上高 前年同期との差異ポイント》

船舶用システム製品	増加	陸電供給システムが減少したものの、L N G運搬船向け等が増加
産業用システム製品	減少	国内グリーンエネルギー関連の発電プラント向け及びコージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連向けが低調に推移
メディカルデバイス	ほぼ横ばい	医療機器及び臨床検査機器ともに前年同期並み
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件が増加
機器製品	減少	欧州向けが堅調に推移したものの、国内の一部で在庫調整の影響あり

セグメント別概要 アジア

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	13,512 (30.5%)	17,925 (34.4%)	22,186 (39.3%)	+23.8%
セグメント利益	985	1,300	2,015	+55.0%

《売上高 前年同期との差異ポイント》

船舶用システム製品	増加	L N G 運搬船をはじめ、いずれの船種向けも好調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	船舶向けの換装工事が増加
機器製品	増加	中国船舶市場及びシンガポール国内向けで堅調に推移

セグメント別概要 ヨーロッパ

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	6,188 (14.0%)	8,055 (15.5%)	7,290 (12.9%)	▲9.5%
セグメント利益	438	888	842	▲5.2%

《売上高 前年同期との差異ポイント》

機器製品	減少	欧州向けの一部及び中近東向けにおいて低調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	ブレーカの更新工事が堅調に推移

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増 減
資産の部			
流動資産	48,381	51,199	+2,817
固定資産	19,662	22,696	+3,034
資産合計	68,043	73,896	+5,852
負債の部			
流動負債	15,301	16,608	+1,306
固定負債	5,950	5,855	▲94
負債合計	21,252	22,463	+1,211
純資産の部			
株主資本	40,065	44,048	+3,982
その他の包括利益累計額	6,725	7,384	+658
純資産合計	46,791	51,432	+4,640
負債・純資産合計	68,043	73,896	+5,852

主な増減

≪流動資産≫

現金及び預金	+4,404
受取手形、売掛金及び契約資産	▲2,072
棚卸資産	+257

≪固定資産≫

有形固定資産	+1,668
退職給付に係る資産	+931

≪流動負債≫

電子記録債務	▲561
短期借入金	▲300
1年内返済予定の長期借入金	+324

その他の流動負債 (内 契約負債)	+2,042 (+1,892)
----------------------	--------------------

≪株主資本≫

利益剰余金	+3,982
-------	--------

≪その他の包括利益累計額≫

為替換算調整勘定	+224
退職給付に係る調整累計額	+323

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	3,819	8,327	+4,507
投資活動による キャッシュ・フロー	▲2,417	▲3,193	▲776
財務活動による キャッシュ・フロー	▲212	▲743	▲530
現金及び現金同等物 の期末残高	13,210	17,614	+4,404

主な収支

≪営業活動によるキャッシュ・フロー≫

税金等調整前当期純利益	6,085
売上債権の減少による収入	2,184
仕入債務の減少による支出	▲699
その他の収入	1,695
法人税等の支払による支出	▲1,880

≪投資活動によるキャッシュ・フロー≫

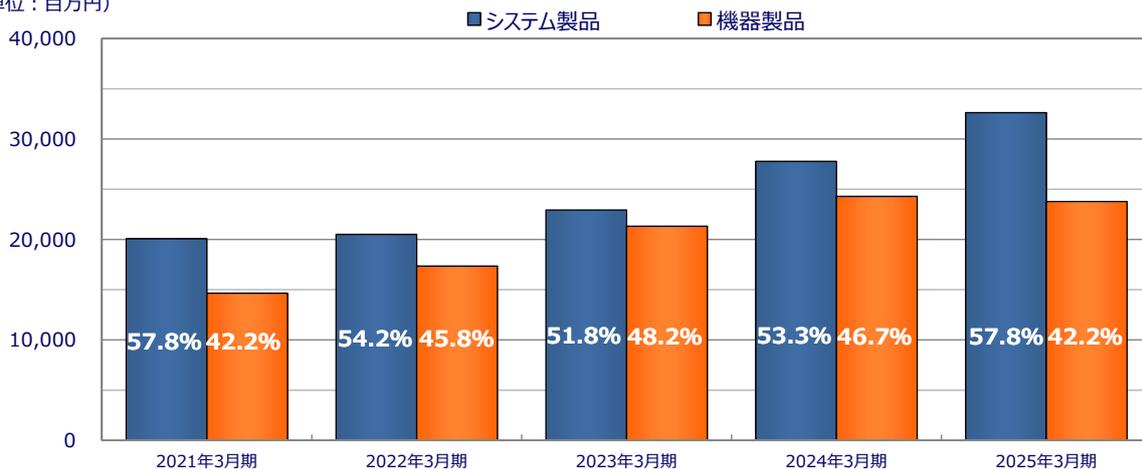
有形固定資産の取得による支出	▲2,843
その他の支出	▲368

≪財務活動によるキャッシュ・フロー≫

リース債務の返済による支出	▲238
配当の支払による支出	▲469

製品別 連結売上高比率

(単位：百万円)

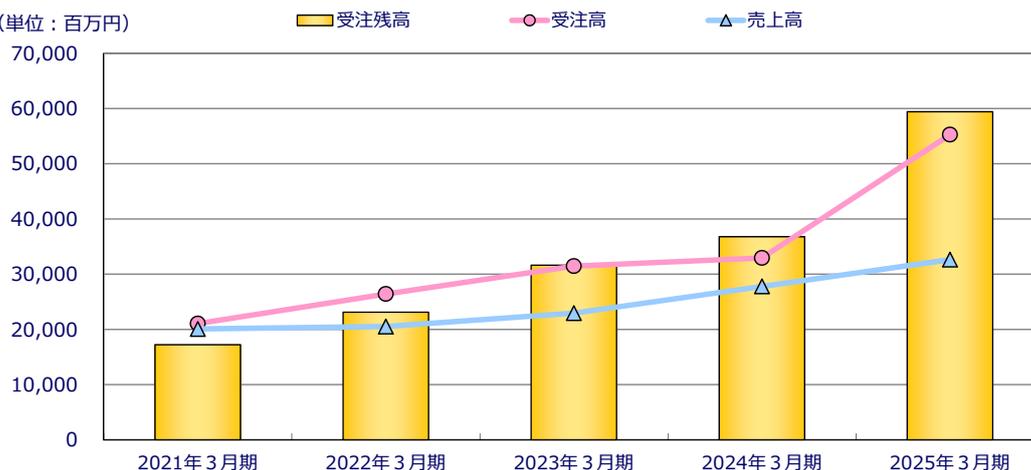


(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比増減率
システム製品	20,070	20,506	22,935	27,776	32,626	+17.5%
機器製品	14,653	17,349	21,317	24,288	23,778	▲2.1%

システム製品 連結売上高・受注高・受注残高

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
受注残高	17,218	23,113	31,629	36,778	59,416
受注高	21,041	26,401	31,451	32,925	55,264
売上高	20,070	20,506	22,935	27,776	32,626

2026年3月期 連結業績予想 及び 配当予想

✓ 船舶用システム製品が総じて堅調に推移すると予測し、売上高は前年同期比5.3%の増加、営業利益は前年同期比1.5%の増益見込み

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	56,404	59,370	+2,965	+5.3%
営業利益	5,618	5,700	+81	+1.5%
経常利益	6,052	5,890	▲162	▲2.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,451	4,160	▲291	▲6.5%
E P S 1株当たり当期純利益	341円67銭	319円29銭		
1株当たり配当金	40.00円	43.00円		
営業利益率	10.0%	9.6%		

<2026年3月期
1株当たり配当金の内訳>
中間配当(予想) 20円
期末配当(予想) 23円
合計 43円

《期中平均レート》

1US\$	152.61円	145.00円
1EURO	163.87円	156.00円
1ST£	194.72円	184.00円
1RMB	21.11円	19.50円

【為替感応度】(US\$1円変動時*の影響額)

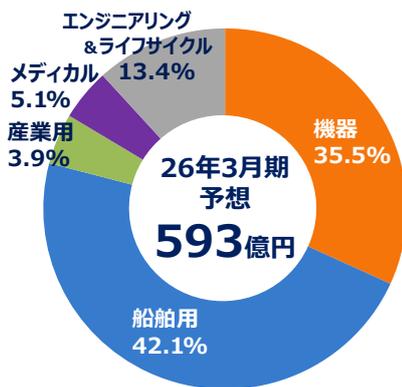
売上高	営業利益
約2億円	約1億円

*その他の外貨がUS\$と連動して変化することを前提とする



製品別連結売上高推移 及び 予想

(単位：億円)



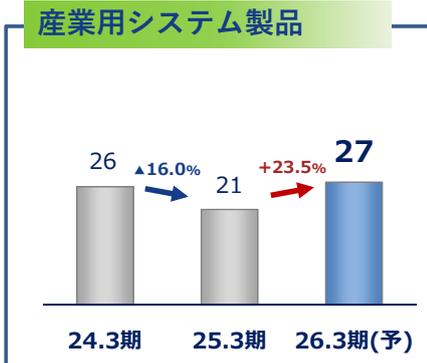
機器製品



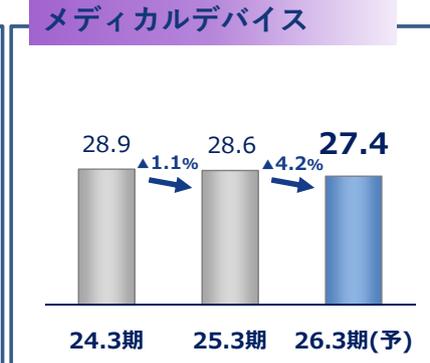
船舶用システム製品



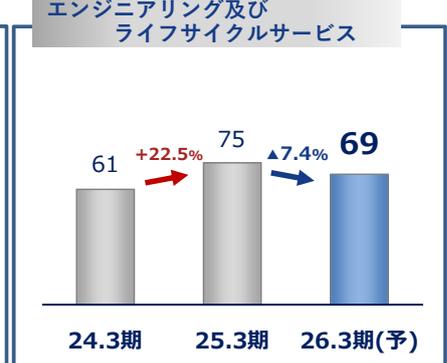
産業用システム製品



メディカルデバイス



エンジニアリング及び
ライフサイクルサービス



* 5つの製品に分類した場合の、管理会計上の参考値となります。また、表示単位未満の端数は切り捨てております。

2025年3月期 トピックス①

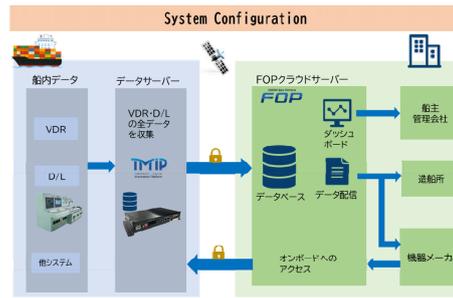
古野電気様とデータ活用基盤で連携、 実船でのサービス提供を開始



- ✓ 船舶のデータ収集に使用される当社のオンボードデータプラットフォーム「TMIP (TERASAKI Marine Information Platform)」と、古野電気株式会社様の船陸間一体で船舶運航を支援するデータ収集システム「FOP (FURUNO Open Platform)」を活用したデータモニタリングサービスの提供を開始しました。
- ✓ 新たに連携したシステムは、三菱鉱石輸送株式会社様所有のLNG燃料自動車専用船「WILD ROSE LEADER」において採用。保船業務の効率化、リモート監視など、船上データの活用を通じた船舶業務のDX化に貢献いたします。



自動車専用船「WILD ROSE LEADER」



TMIP×FOPシステム構成例

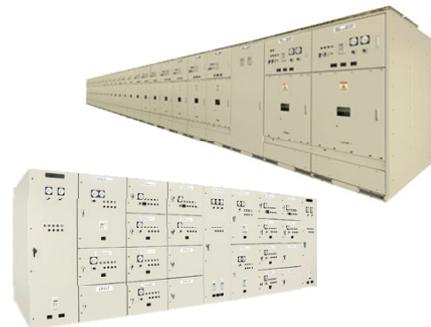
2025年3月期 トピックス②

Osaka Metro「夢洲駅」電気室の 電気設備を納入、施工工事を完工

- ✓ 2025年1月19日、大阪市高速電気軌道株式会社 (Osaka Metro) 様が、2025年4月開幕の大阪・関西万博 (EXPO2025) 会場の玄関口となる「夢洲駅」を開業されました。当社は当駅の電気室に設置される高圧配電盤・低圧配電盤一式の製造に加え、搬入・据付工事から現地調整・検査までのエンジニアリング業務を完工いたしました。
- ✓ ピーク時最大約13万人/日の利用が見込まれる駅構内の照明や空調などの各種電気設備に対する電力供給を、当社の配電制御システムが一手に担います。



夢洲駅



産業用配電制御システム

2025年3月期 トピックス③

新型高圧配電盤「HS50」搭載 大型コンテナ船「OOCL Bauhinia」が 就航

- ✓当社が製造、販売する新型高圧配電盤「HS50」が搭載された大型コンテナ船「OOCL Bauhinia」が、2024年12月に運航を開始いたしました。
- ✓本船に採用された「HS50」は、当社従来機種「HS21」と比べ小型化・大容量化を実現し、今後の船舶の大型化・電動化にも対応した最新の高圧配電盤です。

当社は、今後も船舶の高度な運航支援・安全性・経済性の向上に貢献してまいります。



OOCL Bauhinia
写真提供：Orient Overseas Container Line Co.,Ltd.



船用高圧配電盤「HS50」



— 配電制御の革新を続ける —

本資料お取扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。